

受賞名：優秀賞

タイトル： はじめてのじじょうちょうしゅ

氏名： 鬼原 奈々子

小学校名：千葉県 茂原市立萩原小学校 三年

わたしは、はじめてじじょうちょうしゅをうけた。学校帰りにふしんしゃにそうぐうしたからだ。学校のおわる時間や、家の場所を聞いてきて、いやな気持ちでした。そのことを先生につたえたら、けいさつの人にも話すことになった。ちゃんと話せるかな。きんちょうするなあ。

学校の校長室でけいさつの人に来るのを待った。やくそくの時間になっても来ないぞ。まだかなあまだかなあと思っていたら、けいさつの人 came。男のけいさつかんが2人。「おくれてごめんね。」「火事があってげん場に行ってたからおそくなっちゃったんだ。」と言った。火事は消ぼう車だけじゃなくて、けいさつの人も出動することを知りびっくりした。悪い人をつかまえることが仕事だと思っていたから。色んなことをするんだなあ。

けいさつかんは、かっこよかった。バッジがキラキラ光っていて、むねのあたりにマイクみたいなものをつけている。けいさつかんが「これからしつもんをするから、こたえてね」と言った。そうしてじじょうちょうしゅが始まった。うまく話せるかなあと不安だった。でもけいさつかんはやさしい話し方でしつもんしてくれて、わたしが答えることを真けん聞いてくれた。いつの間にかきんちょうしていたこともすっかりわすれて、聞かれたことにすらすら答えられた。

その日の帰り道は、けいさつかんがいっしょにバイクでつきそって来て家まで帰った。次の日からけいさつの人たちが通学ろのけいびを強めてくれた。そのおかげでふしんしゃにそうぐうすることもなくなり、安心して帰れるようになった。

けいさつのみなさん、わたしたちの安心のためにありがとう。わたしもけいさつかんになつてみたいなあ、とちょっとだけ思った。